



2019年10月10日

各 位

会 社 名 寿スピリッツ株式会社  
 (URL <http://www.kotobukispirits.co.jp/>)  
 代 表 者 名 代表取締役社長 河越誠剛  
 (コード：2222 東証第一部)  
 問 合 せ 先 取締役経営企画部部长 松本真司  
 T E L 0859(22)7477

## 2020年3月期第2四半期の売上状況(概算)について

2020年3月期の第2四半期(2019年4月1日～2019年9月30日)の売上状況(概算)についてお知らせいたします。

**第2四半期累計売上高(概算) 22,391百万円 前年同期比 22.0%増**

## ●四半期別売上高(概算)

(単位：百万円)

|           | 1 Q<br>4月～6月  | 2 Q<br>7月～9月  | 2 Q累計         |
|-----------|---------------|---------------|---------------|
| 前期        | 8,601         | 9,747         | 18,348        |
| <b>当期</b> | <b>10,627</b> | <b>11,764</b> | <b>22,391</b> |
| 増減額       | 2,025         | 2,017         | 4,043         |
| 前年同期比増減率  | 23.5%         | 20.7%         | 22.0%         |

## ●セグメント別売上状況(概算)

(単位：百万円)

|           | 2 Q(7月～9月)    |        |       |        | 2 Q累計(4月～9月)  |        |       |        |
|-----------|---------------|--------|-------|--------|---------------|--------|-------|--------|
|           | 当四半期          | 前四半期   | 増減    | 増減率    | 当四半期          | 前四半期   | 増減    | 増減率    |
| シュクレイ     | <b>4,205</b>  | 3,270  | 935   | 28.6%  | <b>7,830</b>  | 5,988  | 1,842 | 30.8%  |
| ケイセイセイ    | <b>2,894</b>  | 2,532  | 362   | 14.3%  | <b>5,771</b>  | 5,034  | 737   | 14.6%  |
| 寿製菓・但馬寿   | <b>3,088</b>  | 2,737  | 351   | 12.8%  | <b>5,778</b>  | 5,131  | 647   | 12.6%  |
| 販売子会社     | <b>1,724</b>  | 1,478  | 246   | 16.6%  | <b>3,330</b>  | 2,825  | 505   | 17.9%  |
| 九十九島グループ  | <b>1,258</b>  | 869    | 390   | 44.8%  | <b>2,318</b>  | 1,564  | 754   | 48.2%  |
| その他(注1)   | <b>204</b>    | 48     | 156   | 327.1% | <b>462</b>    | 109    | 353   | 323.9% |
| 小計        | <b>13,372</b> | 10,934 | 2,439 | 22.3%  | <b>25,489</b> | 20,651 | 4,838 | 23.4%  |
| (調整額)(注2) | <b>△1,608</b> | △1,187 | △422  | 35.5%  | <b>△3,098</b> | △2,303 | △795  | 34.5%  |
| 合計        | <b>11,764</b> | 9,747  | 2,017 | 20.7%  | <b>22,391</b> | 18,348 | 4,043 | 22.0%  |

(注) 1. 第1四半期より、前連結会計年度に連結の範囲に含めました Honey Sucrey Limited (香港) が含まれております。

2. 調整額は、セグメント間の内部売上高であります。

[補足説明]

当第2四半期会計期間（7月～9月）

当第2四半期会計期間（7月～9月）の売上高（概算）は、首都圏での展開強化及びインバウンド対策として注力している国際線ターミナル売店での卸販売強化などの重点施策の遂行が奏功したことなどにより、前年同期比 20.7%増の 11,764 百万円となる見込であります。

セグメント別で見ますと、「シュクレイ」は、新規出店効果や既存店の販売強化により直営店売上が好調に推移し、また、国際線ターミナル売店や駅売店などでの卸売上が伸長したことなどにより、前年同期比 28.6%増となりました。「ケイセイセイ」は、前年同期に発生した北海道胆振東部地震のマイナス影響の反動増に加え、国際線ターミナル売店での卸売上が伸長したことなどにより、前年同期比 14.3%増となりました。「寿製菓・但馬寿」は、代理店向け及びグループ向け売上が伸長したことなどにより、前年同期比 12.8%増となりました。「販売子会社」は、新規出店効果や国際線ターミナル売店での卸売上の伸長などにより、前年同期比 16.6%増となりました。「九十九島グループ」は、グループ向け売上が伸長したことなどにより、前年同期比 44.8%増となりました。

当第2四半期累計期間（4月～9月）

当第2四半期累計期間（4月～9月）の売上高（概算）は、前年同期比 22.0%増の 22,391 百万円となる見込みであります。

[業績予想について]

2020年3月期の第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、本資料の公表時点では、2019年5月13日公表の業績予想からの変更はありません。

なお、当第2四半期決算発表は、11月5日（火）を予定いたしております。

以 上